令和２年度　　国　語　科　　シラバス（中学校）

教　科　名	科　目　名	単　位　数	年・組
国　　語	国　　語	４	３年１組～３組

使　用　教　科　書	副　教　材
新編　新しい国語３（東京書籍）	常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 練成テキスト中３国語（育伸社） まんがで理解　楽しい文法（とうほう） 二訂版　カラー　小倉百人一首（京都書房）

１．学習の目標

文章を速く正確に、精密に読む訓練をする。
語彙を拡充し、表現の幅を広げる。
古典読解のための知識（古文単語・漢文訓点・文法）を広げ、知識の先取りを行う。
言葉に対する感受性を養い、伝統文化への理解を促す

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．話すこと・聞くこと	３．書くこと	４．読むこと	５．知識・理解
国語への関心が高く、自ら進んで文章に接し、理解の幅を拡げようとしている。	他者の発言・文章を正確に理解し、また自分の考えを明快なことばで表現できる。	目的に応じた読みやすい文字を、正しい筆順・形で書くことができる。	読書が生活の中に無理なく浸透し、あらゆる種類の文章を正確に理解することができる。	偏狭な知識にとらわれず、ものごとを多角的にとらえ考えることができる。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	実力問題	ベネッセの過去問題の演習をして、実力問題に慣れる。	定期試験 小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		生命は	詩の意味や効果的な表現を捉え、読み方を工夫して音読する。	
	5	レモン哀歌	表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 素材と表現について学ぶ。	
		絶滅の意味	論の進め方に注意して、筆者の主張を捉える。 人間社会との関わりについて考え、自分の考えを持つ。	
	6	おくのほそ道	冒頭文を学び、暗唱する。 当時の状況や作者の思いを捉え、古人の考え方を学ぶ。	
		文語文法	文語文法（四段活用・上二段活用・下二段活用）について学ぶ。	
	7	練成テキスト	問題演習を通して総合力を磨く。	
2	9	黄金の扇風機	論の進め方や表現に仕方に注意して作者の考えを読み取る。	定期試験 小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		サハラ砂漠の茶会	「美しさ」「美」に対する自分の考えを持つ。	
		練成テキスト	漢文の問題に取り組み、漢文に慣れる。 漢文を書き下し文に正しく直す。	
	10	言葉の移り変わり	言葉の変化について理解する。	
		文法のまとめ	文法的な性質の異なる語の見分け方を学ぶ。	
		百科事典少女	場面や登場人物の設定を捉え、作品を読み味わう。 場面の展開や表現の仕方に着目する。	
	11	紛らわしい漢字	形や音の似た、紛らわしい漢字について学ぶ。	
		練成テキスト	問題演習を通して総合力を磨く。	
	12	百人一首	和歌の解釈をしながら、百人一首の復習をする。	
3	1	百人一首	百人一首大会に向けて実践練習をする。	定期試験 小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		いつものように新聞が届いた	情報の意義とメディアの役割について考える。 災害時における情報の価値やメディアの役割について考える。	
		話し合いで問題を解決しよう	話の論点を整理する練習を行い、意見を出し合う。 問題解決に向けて互いの考えを生かし合う。	

3	2	間違えやすい言葉	読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉に注意し、正しい知識を身につける。	
		今の思いをまとめよう	分かりやすい文を書くために、文の中の文の成分の順序や照応、文の組み立てなどについて考えさせる。 正しい言葉の使い方、原稿用紙の使い方など、総合的な国語表現力の拡充を図る。	
		練成テキスト	問題演習を通して総合力を磨く。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和２年度　　社　会　科　　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	歴史的分野・公民的分野	4	中学３年１組～３組

使用教科書	副　教　材
新しい社会　歴史（東京書籍） 新しい社会　公民（東京書籍）	よみとき総合歴史　神奈川県版（浜島書店） 最新　公民資料（浜島書店） 中学実力練成テキスト　社会歴史（文理） 中学実力練成テキスト　社会　全（文理）

１．学習の目標

・現代の社会的現象に対して関心を深め，様々な資料を多面的・多角的に考察し，事実を正確にとらえ，公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を養い，公民的資質を育む。
・国際社会に生きる現代人として社会の諸問題に着目し，人類の福祉の向上のための方策を自ら考える態度を育てる。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
社会的事象に対する関心を高め，意欲的に追及し，よりよい社会実現を考察し，公民としての自覚と責任を持とうとする。	社会的事象から課題を見出し，その意義や特色，他の事象との相互の関連性を考察し，健全で公正な判断力を持ち，自らの生き方についても考える。	社会的事象に関する有用な資料を適切に選択し，活用するとともに，それらを追求し，考察した過程や結果を適切に表現する。	１つの社会的事象に関する基礎的な内容の理解や，意義の理解，その歴史的背景など，多面的・多角的に理解し，知識を身に付けている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第７章　現代の日本と世界 １節　戦後日本の発展と国際社会 ２節　新たな時代の日本と世界	［歴史的分野の継続］ ・敗戦後の日本を，民主化政策や憲法制定を中心に理解し，世界の中の日本の立場を考える。 ・東西対立など揺れ動く国際情勢についての理解を深める。 ・高度経済成長期以降の日本の歩みを理解し，21 世紀の日本と世界について考える。 **※以上は臨時休業中の課題として実施**	※臨時休業中の評価 問題集ノートの提出 動画授業ノートの提出 休業明けの小テスト
	5	第１章　わたしたちの生活と現代社会 １節　現代社会とわたしたちの生活 ２節　わたしたちの生活と文化 ３節　現代社会の見方や考え方 第２章　個人の尊重と日本国憲法 １節　人権と日本国憲法 ２節　人権と共生社会 ３節　これからの人権保障	［公民的分野の開始］ ・様々な資料から，現代日本の特色や，現代社会における文化の意義について読み取り，現代社会をとらえる力を育てる。 ・現代日本の特色としてグローバル化，情報化，少子高齢化などが見られ，それらが政治，経済，国際関係に影響を与えていること，又現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として，対立と合意，効率と公正などの見方や考え方があることを，具体的な社会生活と関連付けて理解する。 ・個人の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に，具体的な学習活動などを通して意欲的に追究するとともに，法の意義を理解する。 ・日本国憲法の基本原理（国民主権，平和主義，基本的人権の尊重）を，社会の形成者としての立場から，具体的な生活とのかかわりを通じて理解し，個人の尊厳と両性の本質的平等，自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気付く。**※以上は、動画による配信授業で実施**	
	6	第３章　現代の民主政治と社会 １節　現代の民主政	・現代社会の様々な人権課題の解決や，共生社会の実現に向けての取り組みに，社会の形成者として積極的にかかわろうとする態度を育てる。	

		治 ２節　国の政治の仕組み ３節　地方自治と私たち	・身近で具体的な事例を通して政治に関心を持ち，主権者として積極的に政治にかかわろうとする意欲と態度を育てる。 ・議会制民主主義や住民自治の意義などについて考える。また，選挙をはじめとする国民の政治参加によって，よりよい民主政治が運営されていくことに気付き，良識ある主権者としての政治参加のあり方について考える。	※臨時休業明けの評価 授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出
	7		・新聞記事や統計資料などを活用し，現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえる。 ・国会を中心とする日本の民主政治の仕組みのあらましや，地方自治の基本的な考え方について理解する。同時に，法の意義や法に基づく公正な裁判の保障について理解する。 ・統計資料や図，新聞記事などの様々な資料を収集・選択したり，読み取ったり，その結果をわかりやすくまとめ，表現したりする学習を通し，経済的事象をとらえる見方や考え方の基礎を養う。	定期試験の成績
2	9	第４章　私たちの暮らしと経済 １節　消費生活と経済 ２節　生産と労働 ３節　価格の働きと金融 ４節　政府の役割と国民の福祉	・経済活動が，人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを，身近な消費生活を通して理解する。 ・無限で多様な人々の欲求に対し，社会の資源は有限であり，その資源からどの財やサービスを生産するかを価格を考慮して選択するという，市場経済の基本的な考えを理解し，現代の生産や金融の仕組みや働き，企業の役割と責任について考える。 ・国民の生活と福祉の向上を図るために，市場の働きにゆだねることが難しい諸課題の解決において，国や地方公共団体が果たしている経済的な役割に気付くとともに，財源の確保と配分という観点から財政のあり方について考える。	授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出
	10	５節　これからの経済と社会 第５章 地球社会と私たち １節　国際社会の仕組み	・国際社会が抱える諸課題について関心を高め，様々な資料を適切に収集・選択して多面的・多角的に考察するとともに，その解決のための国際的な努力について理解する。 ・事実を正確にとらえ，公正に判断し，適切に表現できる能力と態度を育てる。	定期試験の成績
	11	２節　さまざまな国際問題 ３節　これからの地球社会と日本	・国際的な相互依存関係の深まりの中で，世界平和の実現と人類の福祉の増大のために，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことが重要であることを認識する。 ・国際社会における日本の役割やあり方について考える。 ・持続可能な社会を形成するために，自分たちに何ができるかを考える事を通し，社会参画するための手がかりを得る。	
	12	終章 よりよい社会をめざして	・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を探究することを通して，対立と合意，効率と公正などの見方や考え方を身に付ける。	
3	1	・中学３年間の総復習・問題演習 総括	・問題演習を通じて，中学３年間で学習した地理的分野，歴史的分野及び公民的分野の総復習をし，特進選抜試験に向けての準備とする。	授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出
	2		・中学３年間の全復習を通じ，知識の整理と系統立てを完成させ，高校進学への準備とする。	定期試験の成績
	3		・自分たちが生きる現代社会を概観し，学ぶことで，公民的分野への関心を高め，これ以降の学習につなげる。 ・地理的分野，歴史的分野との関連を図るとともに，様々な条件や要因からとらえるなど，多面的・多角的に考える。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和 2 年度　　数　学　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学	6	3年1～3組

使用教科書	副　教　材
新しい数学3（東京書籍）	体系数学1・2（代数編・幾何編） 体系問題集数学1・2（代数編・幾何編） 高校受験対策　実践トライアル6＋6

1．学習の目標

中学生として基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2．評価の観点

1．関心・意欲・態度	2．考え方・判断	3．技能・表現	4．知識・理解
・自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。 ・自ら進んで数学的な見方や考え方の良さを認識し、考察に活用しようとしているか。	・数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができるか。	・対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ、問題を解決することができるか。	・基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識が身についているか。

3．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	第1章（幾何2） 図形と相似 ※動画による授業 第2章（幾何2） 線分の比と計量 ※動画による授業 第3章（幾何2） 円	1．相似な図形 2．三角形の相似条件 3．平行線と線分の比 4．中点連結定理 5．相似な図形の面積比，体積比 1．三角形の重心 2．線分の比と面積比 3．チェバの定理 4．メネラウスの定理 1．外心と垂心 2．円周角 3．円に内接する四角形 4．円の接線と弦のつくる角 5．方べきの定理 6．2つの円 ※第2，3章は、高校数学Aの内容も含む。 ※習熟度別は基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。	・定期試験 ・小テスト ・宿題などの提出物 ・授業態度をもとに総合的に評価
2	9 10 11 12	第4章（幾何2） 三平方の定理 （数学Ⅰ） ○図形と計量	1．三平方の定理 2．三平方の定理と平面図形 3．三平方の定理と空間図形 1．正接・正弦・余弦 ①　鋭角の三角比 ②　三角比の拡張 ③　三角形への応用 ※習熟度別は基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。	・定期試験 ・小テスト ・宿題などの提出物 ・授業態度をもとに総合的に評価

3	1 2 3	（数学Ⅰ） ○数と式	１．式の計算 ①整式 ②整式の加法・減法・乗法 ③因数分解 ２．実数 ①実数 ②根号を含む式の計算 ※習熟度別は基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。	・定期試験 ・小テスト ・宿題などの提出物 ・授業態度をもとに総合的に評価

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和２年度　　理　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科（物理・地学）	3	3年1～3組

使用教科書	副　教　材
未来へひろがるサイエンス３（啓林館）	新中学問題集　３年

１．学習の目標

様々な現象に疑問を持ち、実験から原理を学び、論理的に現象を理解することができる。
授業での知識を問題演習により整理し定着する。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
授業に積極的に取り組んでいる。提出物を提出している。	物理的な思考を身に付ける	表・グラフの整理、数値を用いた問題を解くことができる	現象を論理的に説明できる

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	運動とエネルギー	・力のつり合い（動画） ・物体の運動（動画） ・仕事とエネルギー（動画） 仕事（動画） 運動エネルギー（動画） 位置エネルギー 力学的エネルギー ・多様なエネルギーとその移り替わり ・エネルギー資源とその利用	定期試験（中間・期末） 授業態度 （意欲・態度・発言など） をもとに総合的に評価する。 動画配信授業の内容は、視聴状況と動画をもとに作成した穴埋めプリントおよび休校中の課題の状況をみて評価する。
2	9 10 11 12	宇宙の中の地球 特進選抜試験対策	・地球とその外側の世界 ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方 ・プリント演習 ・小テスト	
3	1 2 3	特進選抜試験対策	・プリント演習 ・小テスト	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和 2 年度　　理　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科（化学・生物）	２．５	３年１～３組

使用教科書	副　教　材
未来へひろがる　サイエンス３年　啓林館	最新理科便覧(浜島書店) 新中学問題集　理科３年(教育開発出版)

１．学習の目標

・化学的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を養う。
・生物的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、動物の生活やからだのつくりの多様性と共通性を理解し、動物を探究する能力と態度を育てるとともに動物に対する興味・関心を高めることにより，動物に対する愛情を深め，生命を尊重する態度を育てる。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
科学的な事柄・現象に関心や探究心をもち　意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	科学的な事柄・現象の中に問題を見出し、観察，実験などを行い、事象を実証的・論理的に考察することにより問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	科学的な事柄・現象に関する観察・実験　の技能を習得し、科学的に探究する方法を身に付け、過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察，実験などを通して科学的な事柄・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	生物の成長	生物の細胞の成長と分裂の仕組みを学習する。	定期試験の点数と提出物・小テスト・授業態度を考慮して評価する
		生物のふえ方と遺伝	植物の増え方を細胞の視点から学習する。 動物の増え方を細胞の視点から学習する。 細胞の染色体の仕組みから分裂と遺伝について学習する。	
	5			
	6	自然と人間 自然界のつり合い	生物どうしのつながりを食物連鎖の視点から学習する。 自然界の炭素や酸素の移動を学習する。 自然界のつり合いはどう保たれているのか学習する。	
	7	人間と環境 自然と人間のかかわり	身近な自然環境を調査、学習する。 自然と人間との関わりについて学習する。	
2	9	化学変化とイオン	水溶液に電気が流れる仕組みをイオン・原子を学習して理解する。	定期試験の点数と提出物・小テスト・授業態度を考慮して評価する
	10	水溶液とイオン	化学変化によりどのように物質を取り出すのか酸化・還元を例にして学習する。	
	11	酸・アルカリと塩	化学変化により電気を取り出す仕組みについて学習する。	
	12	１年次の総復習	特進選抜試験に向け、１年次に学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	
3	1	２年次の総復習	特進選抜試験に向け、２年次に学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	定期試験の点数と提出物・小テスト・授業態度を考慮して評価する
	2 3	中学理科の総復習	特進選抜試験に向け、３年間の生物・化学分野の高校入試を踏まえた演習を行う。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和２年度　　音　楽　　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1	３年１～３組

使用教科書	副　教　材
教育芸術社　中学生の音楽　２・３下 教育芸術社　中学生の器楽	な　し

１．学習の目標

音楽の基礎的なことを学習すると共に、歌唱や器楽等の楽しさを味わう。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
興味・関心をもち、意欲的、積極的に参加している。	歌詞の内容や楽曲の背景を感じ取り、どのように表現するか考える。	自己のイメージを表現するための技能を身につける。	感性を働かせて、音楽の要素を知覚し、音楽の良さや美しさを感じ取る。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	歌唱練習	「花」の音取りを自宅で行う。（動画配信）	期末試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	5	歌唱 合唱練習	「花」について学習する。（動画配信） 「旅立ちの日に」のパート練習を自宅で行う。（動画配信）	
	6	音楽鑑賞 音楽史	交響詩「モルダウ」の鑑賞を行う。 各時代の作曲家について学習する。	
	7	期末試験		
2	9	ソルフェージュ 器楽練習	音の聴き取り練習を行う。 アルトリコーダーの練習を行う。	実技試験、期末試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	10	ソルフェージュ 器楽練習	音の聴き取り練習を行う。 アルトリコーダーの練習を行う。	
	11	実技試験 ＤＶＤ鑑賞 合唱練習	アルトリコーダーの試験を行う。 ミュージカルの鑑賞を行う。 合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	
	12	期末試験		

3	1	合唱練習	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。	実技試験、提出物、授業中の態度で評価する。
	2	合唱練習 実技試験	合唱コンクール課題曲、自由曲の練習を行う。 合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。	
	3	実技試験	合唱コンクール課題曲の歌唱試験を行う。 １年間のまとめ	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和２年度　　美　術　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
美術	美術	1	３年１～３組

使用教科書	副　教　材
美術２．３（光村図書）	なし

１．学習の目標

主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を高める。対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的総合的な考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
主体的に表現、鑑賞に取り組む姿勢を重視する。	制作の過程を通して試行錯誤創意工夫を積極的に行う。	表現の技能を身につけ自分らしさを創意工夫して創造的に表す。	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせて良さや美しさを理解する。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	絵画・素描 点描で人物を描く 鑑賞	点描技法を用いて人物画を描く。対象を点描で描くことで素描の表現技法の技能向上をめざす。 点描を用いた作品の鑑賞	制作に取り組む姿勢 作品の提出 学期末テスト
2	9 10 11 12	デザイン・工作 パッケージをデザインする 鑑賞	自分で考えた商品を包むパッケージのデザインを考え、実際に厚紙を用いて制作を行う。手に取ってもらいたい相手のことや、どんなパッケージなら目を引きやすいかを考えながらデザインをする。 ポスター作品の鑑賞	制作に取り組む姿勢 作品の提出 学期末テスト
3	1 2 3	デザイン ピクトグラムを作る	ひと目でみて理解できる絵文字をデザインする。伝えたい内容を、簡潔に相手に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや親しみやすさを考え、表現の構想を練る。	制作に取り組む姿勢 作品の提出

※　上記の内容は，進度によって変更される場合があります。

※　４月、５月は動画配信で授業を行います。

令和２年度　　保健体育　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健体育	3	３年・全クラス

使用教科書	副　教　材
保健体育　（大修館書店）	健康手帳（神奈川県学校保健連合会）

１．学習の目標

○自分の体力の実態を知り、仲間と協力して積極的・合理的に体力の向上に取り組む姿勢を身につける。
○各種の特性を知り、ルールやマナーを理解して安全に留意して運動に取り組むことができる。
○身近な健康問題の学習を、自らの健康問題として課題をとらえ解決していく力をつける。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
積極的に体力を高め、仲間と協力して公正な態度で運動に親しむことができる。	自己の課題に応じた練習や練習方法を考え、課題解決のため、計画的に学習することができる。	各種の基本的な技能や表現を身につけ、自己の能力に応じ、高めることができる。	自己の能力や健康状態、学習環境、各種目の特性を理解し、健康や安全に留意し、運動できる。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
	4	動画配信	体つくり運動、自宅でできるエクササイズのなどの動画配信	
	5			
1	6	○体つくり運動 ・集団行動	・整列、行進、方向転換、列の増減、人員点呼、ラジオ体操	・行動観察、出席状況 ・実技試験、正確性 協調性
		・新体力テスト	・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、持久走、50m走、ハンドボール投げ	・記録測定
	7	○保健 ・健康な生活と病気の予防	１．健康を左右するもの ２．運動と健康 ３．食事と健康 ４．休養・睡眠と健康 ５．生活習慣病とその予防 ６．喫煙と健康 ７．飲酒と健康 ８．薬物乱用と健康	・定期試験 ・授業態度 ・提出物（ノート）等

2	9 10 11 12	（1種目選択制） ○陸上競技 ハードル ○器械体操 ・マット、跳び箱 ○ダンス ・創作ダンス ○球技Ⅱ（選択制） ・バスケットボール ・ハンドボール ・卓球 ○保健 ・健康な生活と病気の予防	・ハードリングドリル、ハードリング、助走、記録会 ・前転、後転（開脚、伸膝）、倒立前転、側方倒立回転 ・開脚とび、閉脚とび、台上前転、発展技、発表会 ・イメージ創作、モチーフ作り、グループ創作、発表会 ・パス、シュート、ドリブル、簡易ゲーム、試合 ・パス、シュート、ドリブル、簡易ゲーム、試合 ・ストローク、サービス、スマッシュ、試合 9．感染症と病原体 10．感染症の予防 11．性感染症の予防 12．エイズの予防 13．医薬品の正しい使い方 14．医療・保健機関とその利用 15．個人の健康を守る社会の取り組み	・行動観察、出席状況 ・実技試験、記録 演技、表現の発表 ・基本技術の習得 等 ・行動観察、出席状況 ・実技試験、基本技能の習得 ・ルールの理解、試合での活躍　等 ・定期試験 ・授業態度 ・提出物（ノート）　等
3	1 2 3	○陸上競技 ・長距離走 ○武道（選択制） ・剣道 ・柔道 ○体育理論 ・文化としてのスポーツ	・グランド周回コース ・記録測定 ・マラソン大会 ・２年次の復習（礼法、足さばき、素振り、空間打突（応用）、竹刀で受ける打ち込み、防具の着脱） ・防具をつけての打突と受け方（基本打突） ・約束稽古 ・２年次の復習（礼法、受け身、寝技、体さばき等） ・受け身、足技、腰技、手技 ・約束乱取 1．生活を豊かにするスポーツ 2．国際的スポーツ大会の役割 3．人びとを結ぶスポーツ	・行動観察、出席状況 ・記録、記録の向上 ・大会への参加、順位 等 ・行動観察、出席状況 ・実技試験、 基本技能習得　等 ・定期試験 ・授業態度 ・提出物（ノート）等

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和２年度　　技術・家庭　科　　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	(家庭分野)	1	３年１組～３組

使用教科書	副　教　材
新しい技術・家庭　　家庭分野（東京書籍）	なし

１．学習の目標

・自分の成長や生活は、家族やそれにかわる人々に支えられてきたことに気づくことができる。
・いろいろな販売方法の利点や問題点について理解する。
・会食について、理解する。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
自分の生活について関心をもち、充実・向上を目指し、主体的に取り組もうとする実践的な態度を身につける。	さまざまな分野で課題を見いだして、その解決を目指して自分なりに工夫し、創造している。	生活を充実・向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につける。	生活の意義や役割を理解し生活を充実・向上するために必要な知識を身につける。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	幼児の生活と家族 ・幼いころを振り返ろう。 ・幼児の心身の発達と生活を考えよう。	自分の幼児期を振り返り、幼いころの夢・エピソードなどをまとめる。(動画配信) 幼児の心身の発達の特徴と生活について考える。(動画配信) 幼児の成長を支える家族の役割を考える。	プリント、レポート プリント、レポート、試験
2	9 10 11 12	・幼児の生活と遊びを知ろう。 家族・家庭と地域 ・家庭や家族の機能や地域とのかかわりを考えよう。 ・家族関係をよりよくしていこう。	幼児の１日の生活を振り返り、幼児にとっての遊びの意義について考える。 遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。 家族とのかかわりや、これからの自分の家庭生活について考える。 家族関係をよりよくする方法を考える。	プリント、作品、試験 プリント、試験 プリント、試験
3	1 2 3	わたしたちの消費生活と環境 ・私たちの消費生活 ・環境に配慮した消費生活	自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費生活を知る。 環境に配慮した消費生活について知る。	プリント、試験 プリント、試験

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和２年度　　英　語　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語	6	３年全クラス

使用教科書	副　教　材
NEW TREASURE English Series Stage2（Ｚ会） Sunshine English Course 3（開隆堂）	NEW TREASURE English Series Stage1～2 文法問題集・準拠 CD（Ｚ会） キクジュク（アルク） 中学英語まるまるリスニング基礎・標準（三省堂） 32 単元で総復習英語中学まとめ（教育開発出版）

１．学習の目標

・NEW TREASURE を活用し，４技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に養う。
・「キクジュク」を使用して，語彙力の充実を図る。
・「NEW TREASURE 文法問題集」「32 単元で総復習英語中学まとめ」などを利用し，中学英法の総復習を行う。
・「中学英語まるまるリスニング」を使って，従来のリスニングに多くの時間を割く。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
主体的に授業に参加し、かつ家庭学習も欠かさない。語学学習の基礎を繰り返し行い、努力する姿勢を怠らない。	基本的な文法を理解し、作文や会話表現とのつながりを意識することができる。	音読や英作文を反復して行い、英文を暗記し発話や英作文に活かすことができる。	習得した知識を「読む、書く、聞く、話す」の４技能を用いて理解を深める。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容		評価方法
1	4 5 6 7	New Treasure2 Lesson7 Lesson8 Lesson9	①受動態の文　②受動態の疑問文/by 以外の前置詞 ③SVOO/SVOC の受動態 ①名詞の種類　②不定代名詞　③再帰代名詞 ※６月までの内容は動画配信やウェブドリルでの実施 ①後置修飾　②分詞の形容詞的用法		授業態度 提出物 小テスト 定期試験
2	9	Lesson10 Lesson11	①関係代名詞 主格 ②関係代名詞 目的格　③関係代名詞 that ①不定詞　形式主語　②不定詞　V O to 動詞原形 ③疑問詞+to 不定詞		授業態度 提出物 小テスト 定期試験
	10	Lesson12 [リスニング Book 基礎] Training1～10 [英語中学まとめ]1～5	①比較の応用　②間接疑問文 ③付加疑問文　④感嘆文 導入編・練習編 実践編①	[NEW TREASURE2 READ] Lesson1～3	
	11	[リスニング Book 基礎] Training11～30 [英語中学まとめ]6～16	実践編① 実践編②	Lesson4～6	
	12	Training31～35 [英語中学まとめ]17～18	実践編②		
3	1	[リスニング Book 標準] Training1～20 [英語中学まとめ]19～24	導入編・練習編 実践編①	Lesson7～9	授業態度 提出物 小テスト 定期試験
	2	[リスニング Book 標準] Training21～40 [英語中学まとめ] 25～32 入試対策テスト	実践編②	Lesson10～12	
	3			総復習	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。
※　キクジュクを使い、小テストを行う。

令和２年度　　道　徳　科　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
道　　徳	道　　徳	1	３年全クラス

使用教科書	副　教　材
光村図書出版「中学道徳　きみがいちばんひかるとき」	なし

１．学習の目標

よりよい生き方を探る
　人間としての生き方を考える視点で自分の学びを確認する。
現実の中で迷ったときは，今までに何を学んできたか，どう考えてきたかを振り返る。

２．評価の観点

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解
自ら積極的に考える姿勢を持てたか。	他人の意見を尊重し、多角的に物事を見て判断するしせいが身についたか。	自分の意見を冷静に、秩序立てて表明できたか。	社会の規範や人としての正しい行いが身についているか。

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1　メダルの向こう側に 2　小さな出来事	困難や失敗を乗り越えて，何かをやり遂げるために大切なことは，何かを考える。	発言内容 聞く姿勢 授業中の態度 ノートの完成度 観点別評価は行わない。
	5	3　背番号10 4　あの日　生まれた命	自分と自分を取り巻く人々とは，どのような思いで関わっているのかについて考える。 命を大切にするとは，どういうことかを考える。 ・東日本大震災について知っていることを出し合う。	
	6	5「知らないよ。」 6　二通の手紙 7　がんばれ　おまえ 8　足袋の季節	自分で考え，誠実に行動することは，どうして大切なのかを考える ・自分で考え，誠実に行動できているかを振り返る。 規則は，何のためにあるのか考える。 ・学校や学級の規則について，どのように考えているかを出し合う。 人がもつ弱さや醜さを見つめ，それを乗り越えようとする力について考える。 ・これまでに経験した「後悔」について振り返る。	
2	9	9　アイツとオレ 10　ぼくの物語　あなたの物語 11　電話番	人とわかり合うことは，なぜ必要なのか考える。 ・自分のことを理解してもらっていると思う経験を想起する。 差別や偏見のない社会にするためには，どのような心を大切にするとよいかを考える。 ・社会に存在する差別や偏見について考え，それについての疑問や考えを出し合う。	

2	10	12　根本を究めて ――「お茶博士」 辻村みちよ 13　私がピンク色の キャップをかぶ るわけ	社会の一員として，自分からさまざまなことに関わっていくために大切なのは，どんな心なのかを考える。 ・地域清掃活動や社会福祉施設などでの「ボランティア活動」の体験を出し合う。 友達の存在について，考える。 ・「友達」とは，どんな関係の相手を指すのか，それぞれの考えを出し合う。	
	11	15　礼儀正しさとは 16　一票を投じることの意味	礼儀の意味を考える。 ・教科書90・91ページのマップに自分の考えを書き込み，日常にある「礼儀正しい姿」を振り返る。 よりよい社会を実現するために，大切なことは何かを考えさせる。 ・自分が18歳になったら選挙に行くかどうか，考えを出し合う。	
3	1	26　恩讐の彼方に	「寛容の心」とは，どんな心なのかを考える。 ・「寛容」の意味を確認し，誰かを許した経験や許せなかった経験を振り返る。	
	2	31 命と向き合う	命の尊さについて考える。 ・小学校から９年間，道徳で「D（19）生命の尊さ」に関する教材にはどんなものがあったか，印象的な教材を出し合う。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

令和２年度　　総合的な学習の時間　　シラバス（中学校）

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		２（７０時間）	３年全クラス

使用教科書	副　教　材
なし	

１．学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して，自ら課題を見付け，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに，学び方やものの考え方を身に付け，問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て，自己の生き方を考えることができるようにする。

２．評価内容

１．関心・意欲・態度	２．考え方・判断	３．技能・表現	４．知識・理解

３．学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	4月・5月は動画配信 国際理解教育 （年３５時間）	クラスを２つに分け，英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ，コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で，言語活動に専念するのではなく，言語を通して異文化理解につとめる。	
2	9 10 11 12	平和教育 （修学旅行関連 ：３５時間） 国際理解教育 （年３５時間）	平和や伝統文化について学習し，集団の中での立場や責任を学ぶことを目的として，京都・奈良・広島を４泊５日で巡る。 １．事前学習 ① レポートの作成 「戦争と平和について」「世界遺産について」のレポートを作成し，修学旅行にむけての意識を高める。 ② ＤＶＤ鑑賞 見学地の歴史的背景に関するＤＶＤを鑑賞し，知識を深める。 ２．実行委員の発足 ① 目標や規則など，よりよい修学旅行になるよう，自分たちで考え，行動できるようにする。 ３．修学旅行の実施，班別自主行動 ① マナーを守る，集団生活における協調性重んじ，自分の役割を果たすことができるようにする。 ② 班員で協力し，計画通りに行動することができるようにする。 ４．事後学習 ① 修学旅行新聞の作成 クラスを２つに分け，英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ，コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で，言語活動に専念するのではなく，言語を通して異文化理解につとめる。	
3	1 2 3	国際理解教育 （年３５時間）	クラスを２つに分け，英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ，コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で，言語活動に専念するのではなく，言語を通して異文化理解につとめる。	

※　上記の内容は，進度によって変更される場合がある。